



米っ子だより

柏崎市立米山小学校
学校だより 9月号
令和4年9月5日

「やってみよう」を育む大人のかかわり

校長 嶋田 純一

4月以来、教育目標を具現するためには「『やってみよう』という気持ち大切です」と伝え続けています。そして、様々な場面で児童の「やってみよう」を見付けることができます。

例えば、全校児童が集まって活動したり話を聞いたりした際、担当職員が「感想を言ってくれる人はいませんか」と言うことがあります。そのような時に自分から手を挙げることは「やってみよう」という気持ちの表れの一つだと感じます。

先日、秋田県大館市の学校訪問の報告を聞く機会がありました。報告された学校では、様々な行事や見学などを含む活動の後の挨拶担当を事前に決めておくことをやめたそうです。その場で児童に「感想やお礼を言いたい人、どうぞ」と声を掛け、それを受けて話をすることが当たり前になってきているとのことでした。

当校の例も大館市の学校も共通していることは、教育が自分のもっている画一的な価値観の押し付けになっていないだろうかと思問することだと思えます。感想発表やお礼の挨拶はこうあるべきといった整った形ばかりを求めてはいないだろうかと思問することの大切さに改めて気付かされます。子どもが安心して話すことができる環境を整え、子どもとの関係を紡ぐこと、そして、自分の価値観を問い直すことが、子どもの「やってみよう」を育むためには大切だと考えます。

全校米山登山に向けて

9月10日（土）の全校米山登山に向けて、金子佳一様を講師に事前学習会を行いました。金子様は、柏崎山岳会に所属され、登山歴50年以上の登山のプロです。リュックサックの中身の詰め方や背負い方、歩き方の基本をはじめ、危険から身を守るための方法など、幅広くお話しいただきました。

また、金子様は安全に登山をするために、柿崎ドームなどでトレーニングを重ねているとのことでした。日頃の積み重ねの重要性を改めて教えていただきました。当日は、天候に恵まれ、安全に登山ができるといいなと思えます。



5, 6年生 妙高自然教室

9月1日、2日の二日間、5、6年生が妙高青少年自然の家で様々な活動をしてきました。あいにくの雨で予定を変更しながらの活動でしたが、家族と離れ、妙高でなければ体験できないことが多くあり、貴重な経験になりました。特に、小雨の降る中での野外炊事と雨上がりの源流探検は、自分達の力だけで料理をしたり、妙高だからこそ味わえる大自然を満喫したりなど、充実した活動になりました。

施設の指導者からは、自然の家が行っている「思いやりのリレー」を学校や家庭に戻ってからも伝え、実践してほしいとの話がありました。5、6年生の学びが、米山小学校や家庭に広がるものと期待しています。



< 9月の主な予定 >

- 6日(火) 課外活動
- 7日(水) ALT訪問 委員会
- 8日(木) 課外活動
- 9日(金) 課外活動
- 10日(土) 全校米山登山
- 12日(月) 振替休業日
- 13日(火) 市教育委員会学校訪問 スクールカウンセラー来校
- 14日(水) ALT訪問 クラブ(グランドゴルフ)
- 15日(木) 課外活動
- 16日(金) 避難訓練(不審者対応) 課外活動
- 20日(火) マラソン全校練習
- 21日(水) 全校5限下校(職員研修のため)
- 22日(木) 課外活動
- 26日(月) マラソン全校練習
- 27日(火) 親善陸上大会(6年生)
- 28日(水) 親善陸上大会予備日(6年生)
- 30日(金) オープンスクール(マラソン記録会、米っ子健康会議)



新潟日報

ふむふむ

「学校じまん」

9月9日(金)の紙面で米山小学校が紹介されます。

また、新潟日報のホームページ「教育モア」でも掲載されます。ご覧ください。

